

■三菱電機(株)系統変電システム製作所赤穂工場

(赤穂市鷗和 651)



当事業所は、昭和47年兵庫県下にある伊丹製作所赤穂工場として、赤穂市の西端に位置する鷗和へ主に発電所向けの大容量変圧器専門工場を設立しました。昭和61年には、中容量の変圧器を移管し、国内有数の大・中容量変圧器専門工場になると共に、新幹線等の車輛搭載用変圧器の製造も開始しました。これらの製品は製品アセスメントを行い、エネルギー損失の低減やコンパクト化などの環境負荷低減を図り、環境にやさしい製品を提供しています。

環境保全への取り組みとしては、市との環境保全協定の締結、平成9年にはISO14001を認証取得し、更新審査も既に8回受け、システムが有効に機能していることが認められています。

赤穂工場では、生物多様性を保全し、生態系を保護するため工場周辺の歩道の清掃や赤穂クリーンアップ大作戦（ごみゼロの日）の参画などの活動を実施しています。

環境保全に関する方針

三菱電機株式会社の変圧器等の電力機器は、発電電及び受変電設備の中心として、電力、工業、交通システム等の発展に大きく貢献しています。このような電力機器などの製造や技術の開発においては、電力をはじめとするエネルギーや資源を多く使用し、環境に大きな影響を与えていることを踏まえて、次に掲げた環境活動を推進します。

1. 環境保全に配慮し、省資源を基本とした製品の提供、工場でのエネルギー削減、廃棄物の削減など、環境の維持・向上を図ります。
2. 環境関係法、条例及び協定等を遵守し、自主管理基準による環境管理レベルの一層の向上に取り組みます。
3. 瀬戸内海の青い海に面し、緑豊かな赤穂の自然環境を大切に維持するなど生物多様性を保全し、生態系を保護するため、関係官庁、地域住民とのコミュニケーションを図り、環境保全での取り組みで蓄積された環境関連技術や情報を提供して継続的な環境改善に努めます。
4. 環境教育、社内広報活動等を通して、赤穂工場内の全従業員に環境方針を周知させ環境マインドの育成を図ります。